

業 務 紹 介

本地区で調査する施設は以下のとおりです。

関 係 市 町	青森市、五所川原市、藤崎町、板柳町
調 査 施 設	ダム 1箇所
	浪岡ダム:都谷森導水路,都谷森頭首工含む
	頭首工 3箇所
	松島頭首工,夕顔関頭首工,浪岡頭首工
	揚水機場 1箇所
	松島揚水機場
	用水路 総延長:L=13.6km
	松島導水路,長橋幹線用水路,夕顔関幹線用水路
	銀幹線用水路,川倉導水路,浪岡幹線用水路
	用水管理施設 1式
調査期間(予定)	平成29～32年度 (4ヵ年)



▲浪岡ダム



▲夕顔関頭首工

2. 平成 29 年度調査の概要

今年度は、事業計画に関わる営農計画、経済効果、地区内の施設機能診断及び漏水等の施設の変状について、原因の究明調査等を行う予定としています。

【施設状況】



▲導水管からの漏水 (浪岡ダム)



▲管水路の孔食 (松島導水路)

業務紹介

～調査地区の紹介「浅瀬石川二期地区」～

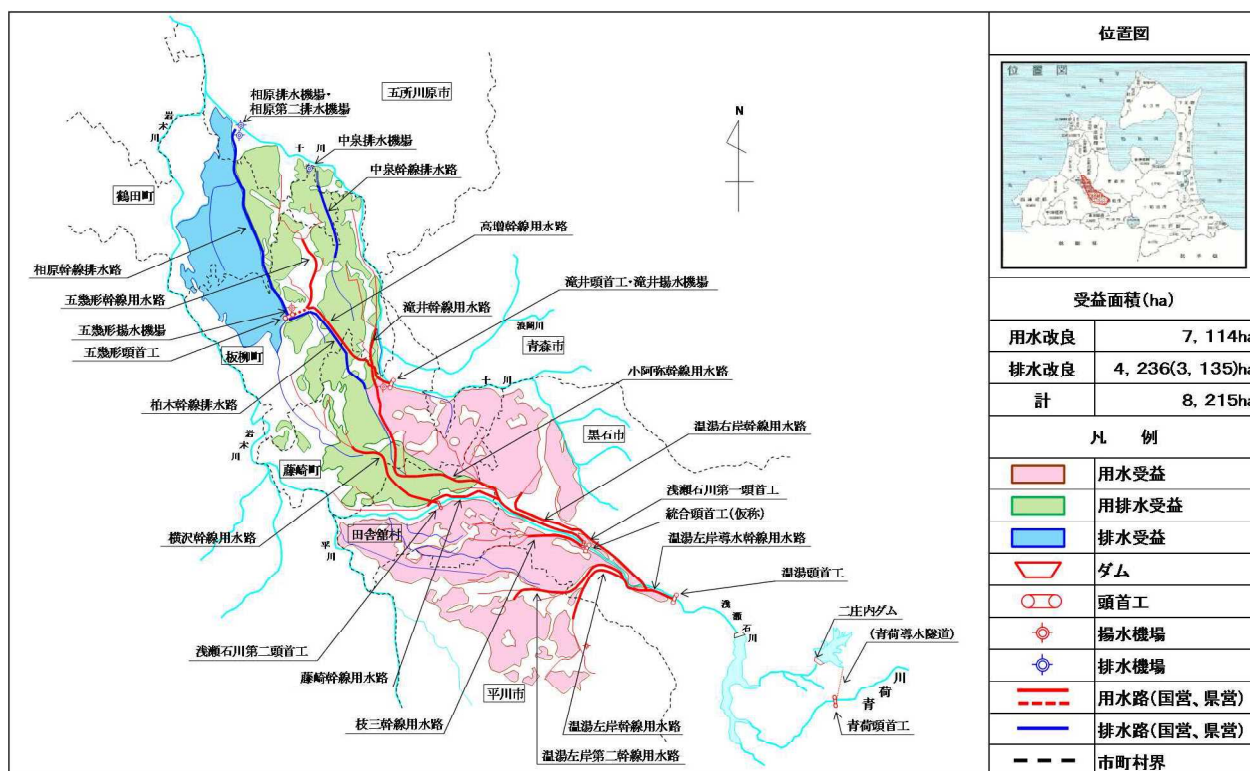
本地区は、平成 27 年度より国営土地改良事業地区調査に着手し、事業計画策定に向けた各種調査を本年度も引き続き実施します。ここでは、地区及び調査の概要について紹介します。

1. 地区概要

本地区は、青森県南西部に位置し、青森市他 3 市 3 町 1 村にまたがる農業地帯です。本地区の営農は、水稻を中心とし、水田畑利用による大豆や小麦の土地利用型作物のほか、野菜等を組み合わせた営農が行われています。

昭和 50 年度から平成 7 年度にかけ国営浅瀬石川農業水利事業により造成された基幹水利施設は、水源である二庄内ダムをはじめ、頭首工、揚・排水機場、幹線用・排水路等がありますが、完成から 30 年以上を経た施設や昭和 40 年代に造成された浅瀬石川第一・第二頭首工においては、老朽化が著しくなっており、農業用水の安定供給及び排水機能に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。また、重要度が高い施設のうち、大規模地震に対して必要な耐震性能を有していない施設については、耐震対策を講じる必要があります。

このことから、施設の統廃合を含めた広域的な用水計画の再編を行うとともに、老朽化が進行している農業水利施設の改修及び耐震対策を一体的に行うことにより、農業用水の安定供給、排水機能の維持及び維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持と農業経営の安定に資する整備が必要となっています。



注) 受益面積は平成 26 年 4 月時点

業 務 紹 介

2. 平成 29 年度調査の概要

昨年度は、全施設で行った機能診断調査の結果から性能低下予測を行い、改修の必要性などを確認しました。

今年度は、受益面積を精査し、高収益作物の導入を目指した営農計画の検討、用水計画の検討、統合頭首工(仮称)の新設に伴う河川協議などを進めていくとともに、整備構想、概算事業費をとりまとめます。



▲浅瀬石川第一頭首工

3. 国営浅瀬石川二期地区土地改良事業促進協議会

浅瀬石川二期地区の事業推進を目的として、平成 26 年 5 月に本地区の関係機関（関係市町村、浅瀬石川土地改良区、津軽平川土地改良区）により「浅瀬石川二期地区土地改良事業促進協議会」が設立され、幹事会は年数回、通常総会は例年 5 月に開催しています。

また、各種調査の実施に当たっては、上記促進協議会の下部組織「営農検討部会」及び「環境配慮検討部会」において、関係機関、地域の専門家、地元農家等の参画を得て進められています。

①営農検討部会

県、市町村、JA、地元農家代表等で構成され、本地区における営農計画の策定を目的に、平成 26 年 10 月に設立されました。第 4 回検討部会は平成 29 年 3 月に開催され、地区の代表作物の作付計画及び営農類型等について検討されました。平成 29 年度は、作付計画等を取りまとめた営農計画（案）の検討を行う予定です。

地区内の代表作物



▲りんご



▲大豆



▲にんにく

②環境配慮検討部会

県、市町村、有識者、地域住民等で構成され、本地区の環境配慮計画の策定を目的として、平成 27 年 5 月に設立されました。平成 28 年度は計 2 回の検討部会及び下部組織である魚道検討分科会が計 3 回開催され、環境配慮基本方針（案）及び整備予定魚道の構造等が検討されました。平成 29 年度は魚道遡上調査等を実施し、整備予定魚道の構造等の決定及び環境配慮対策の検討を行う予定です。